

せいそう 労働者 速報

2025年11月10日
No. 1236
東京清掃労働組合
企画・総務局

2025年度賃金確定（第3回）専門委員会交渉を実施

制度的に破綻している業務職給料表を 一刻も早く見直すよう強く求める

賃金確定第3回専門委員会交渉を11月10日（月）17：20から実施し、差額支給の終了や改定給料表・新給料表などについて協議しました。

差額支給の終了は高齢層職員の「活躍」を阻害するものである

差額支給の終了は到底認められるものではないと追及した上で、激変緩和措置としてどのような措置が検討されているかについても質しました。さらには過去に保障額表を脱した職員に対する特例的な取り組みについても追及しました。

技能長職における課題を早急に解決しろ

区長会より提案された技能長職における複線型の選考について、結果が伴わない制度改革とならないように改めて厳しく追及しました。また、昇任抑制の要因となっている設置基準やフルタイム再任用の定数内配置などについて、技能長職（担当技能長含む）の拡大に向けた取り組みを求めました。

一刻も早く新業務職給料表を構築するべきだ

いまだ示されない改定業務職給料表について、まずは改定に関わる考え方や進捗状況について質し、中高年齢層の賃金底上げ、清掃事業の特殊性や継続性を考慮した検討を求めました。

また、骨子が示された新給料表については、低水準におかれている現行の業務職給料表が引き起こしている問題、中高年齢層職員の士気の向上につながる賃金水準の確保、行政職給料表との負の連動性などについて追及し、一刻も早い新給料表の構築を強く求めました。

高年齢層職員の賃金水準の改善策を早急に示せ

団体交渉において言及があった再任用職員を含めた高年齢層職員の給与待遇の改善策について、いまだ示されていない特別区が取り得る対応を質しました。さらに、人事院勧告では「職務・職責をより重視した給与体系を含む、新たな人事制度

の構築」として来年にはその骨格、再来年には措置内容を示すとしていることから、今後の高齢期処遇をめぐる国の動向等についても見解を質しました。

今期の専門委員会交渉では、清掃職員の賃金・人事制度の総合的・抜本的改善に向けた課題を中心にしながら協議してきました。課題は多岐にわたり、区長会からはそれぞれが個別的な考え方で示されますが、我われの職場実態に照らし合わせればすべてが連動しているものです。

住民に身近で全区民・全地域が対象となる清掃事業において、清掃職員が自信と誇りを持って職務に邁進するためには、魅力ある賃金・人事制度の確立が必要です。新規採用職員から高齢層職員まで、すべての清掃職員の労働条件の底上げを目指し、今賃金確定闘争を闘い抜きましょう！